



ワンウェイ
プラスチックリデュース
業務委託
実績報告書



RAD  **BERRY**

76.4FM ASHIKARA 76.3MHz KUZUU 84.4MHz
IMAICHI 79.1MHz SHIOBARA 76.5MHz

株式会社エフエム栃木

目次



| | |
|-------------------------------|----|
| 1 はじめに/実証事業を実施するイベント概要 | 1 |
| 2 全体スケジュール | 2 |
| 3 使い捨てプラスチック代替容器の導入 | |
| ・容器販売会社との調整/フード出店者の募集 | 3 |
| ・フード出店者へのヒアリング | 4 |
| ・ベリテンライブ2022Special出店者説明会 | 5 |
| ・紙食器等オーダーシート | 6 |
| ・紙食器等の詳細 | 7 |
| ・持ち込み紙食器等申請書/紙食器等の総発注数・総持ち込み数 | 8 |
| ・紙食器使用の様子 | 9 |
| ・課題・改善点など | 10 |
| 4 ごみのリサイクル | |
| ・市町やごみ処理業者との調整/分別区分の設定 | 11 |
| ・エコステーションの設置/エコステーションのデザイン | 12 |
| ・エコステーション設置場所/当日の様子 | 13 |
| ・エコステーションの運営 | 14 |
| ・ごみ集積所レイアウト/クリーンスタッフユニフォーム | 15 |
| ・使い捨てプラスチックごみの削減効果/課題・改善点など | 16 |
| 5 イベント参加者への分別の周知 | |
| ・HPへの掲載/PRブースでの周知/大型ビジョンでの周知 | 17 |
| 6 アンケートの実施 | |
| ・来場者アンケートの結果 | 18 |
| ・フード出店者アンケートの結果 | 20 |
| 7 普及啓発活動 | |
| ・PRブース | 21 |
| ・特別番組の放送 | 22 |





1

はじめに / 実証事業を実施するイベント概要

はじめに

大規模イベントにおいては、大勢の参加者が複数回の飲食をすることから、使い捨てプラスチック容器が大量に使用され、飲食後はそれらが大量のごみとなって排出されている。

一方、ごみの発生を抑制するため、使い捨てではなく、リユース食器の使用に取り組んでいる一部のイベントもあるが、大規模イベントにおいては手間がかかりすぎるなどの理由からリユース食器の利用は進んでいない。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、リユース食器の使用を控える動きも出ている状況にある。

そこで、大規模イベントにおいて使い捨てプラスチック容器を使用しないモデルを創出し、Withコロナ社会における新しい生活様式とプラスチックごみの排出抑制を両立させることを目的として、使い捨てプラスチック容器を使用しない取組の試験的導入及び検証を行った。

実証事業を実施するイベント概要

栃木県内で行われる飲食を伴う大規模イベントである栃木県最大級の野外音楽フェスティバル「ベリテンライブ2022Special」で実証事業を行った。

ベリテンライブ2022 Specialの概要

2003年9月から18年間続けてきた、栃木県最大級の野外音楽フェスティバル「ベリテンライブSpecial」。「日本の都市公園100選」にも選定されている、自然豊かな栃木県井頭公園（真岡市）の野外ステージを舞台に日本を代表する音楽アーティストが集い、演奏を繰り広げる。今年は2日間、計18組のアーティストで開催した。

| | |
|------|--|
| タイトル | RADIO BERRYベリテンライブ2022Special |
| 開催日時 | 2022年9月10日(土)・11日(日) |
| 開催会場 | 栃木県井頭公園・運動広場／栃木県真岡市 |
| 参加人数 | 2日22,000人(キャパ70%)※ ※新型コロナウイルス感染症対策のため |



2

全体スケジュール



| 項目 | 月 | 8ヶ月前 | 7ヶ月前 | 6ヶ月前 | 5ヶ月前 | 4ヶ月前 | 3ヶ月前 | 2ヶ月前 | 1ヶ月前 | | 1ヶ月後 | 2ヶ月後 |
|-------------------|---|-------------|------------|------------|--------------|--------------|------|-----------|------------|---|---------------|------|
| 使い捨てプラスチック代替容器の導入 | | 容器販売事業者との調整 | | | | | | | | | | |
| | | フード出店者の募集 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | フード出店者にヒヤリング | | 説明会 | 注文期間 | | | |
| ごみのリサイクル | | 市町・処理業者と調整 | | | | | | | | | | |
| | | | エコステーション設計 | | | | | | | | | |
| | | | | ごみ集積所レイアウト | | | | | | | | |
| | | | | | エコステーションデザイン | | | | | | | |
| | | | | | | エコステーション運営▶ | | | | | イベント当日 | |
| イベント参加者への周知 | | | | | | | | HPで告知 | | | | |
| | | | | | | | | | PRブースで周知▶ | | ★ | |
| | | | | | | | | | 大型ビジョンで周知▶ | | ★ | |
| アンケートの実施 | | | | | アンケート内容検討 | | | | | | | |
| | | | | | | | | Web設定 | | | | |
| | | | | | | | | | 来場者用アンケート▶ | | ★ | |
| | | | | | | | | | | ★ | ◀フード出店者用アンケート | |
| 普及啓発活動 | | | | | PRブース内容検討 | | | | | | | |
| | | | | | | | | PRブースデザイン | | | | |
| | | | | | ラジオ番組構成検討 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 当日会場で収録▶ | | ★ | | |
| | | | | | | | | | | | 事後ラジオ番組放送▶ | |



フード出店者の参加条件として使い捨てプラスチック容器の使用を禁止し、紙食器等の代替容器の導入を行った。

容器販売会社との調整

今回の実証事業を実施するにあたり、卸業者2社からライブ会場での卸販売の可否や商品ラインナップなどの情報を収集。

多くのバリエーションの紙食器等をラインナップしていること、事業内容を理解し、積極的に取り組んでくれる会社を選定。

業者決定後は飲食店からの受注方法や納品方法を設定。

さらには、飲食店からのリクエストを受け付けること、持ち込み容器を容認することなどを決定。

フード出店者の募集

フード出店者の出店条件として、飲食物等の提供においてプラスチック製の使い捨て容器の使用は原則禁止し、紙食器等の使用を推進。

ペットボトルについては再生可能であること、持ち運びやすいので「熱中症予防」にも有効との判断をし、そのまま提供することとした。

3.出店条件について

※環境対策について
 ベリテンライブでは、近年問題となっているプラスチックごみの削減に向けて、「脱プラスチック」の取り組みを検討しています。
 飲食物等の提供においてプラスチック製の使い捨て容器の使用は原則禁止し、紙食器の使用を推進する予定です。
 実施の場合は主催者指定の製品のみ使用となり、卸販売を行う予定です。
 ご出店の皆様には趣旨をご理解のうえ、「脱プラスチック」の円滑な運営へのご協力をお願い申し上げます。



フード出店者へのヒアリング

フード出店者に下記の案内文書を事前に配布

可能な限りフード出店者が提供する飲食物に合った紙食器等を用意するため、事前にラインナップ案を提示し、フード出店者の確認を受けた。また、不足等があれば要望を受け付け、ラインナップに追加できるようにした。

ベリテンライブ出店者様

2022年0月00日

株式会社エフエム栃木
□□部

ベリテンライブ2022Special ワンウェイプラスチックリデュース(プラスチック使用削減)展開について

謹啓 時下ますます清栄のこととお慶び申し上げます。平素は弊社業務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびは、ベリテンライブ 2022Special へのご協賛をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、今年のベリテンライブ 2022Special ですが、環境対策の一環として、近年問題となっているプラスチックゴミの削減に向けて、「ワンウェイプラスチックの使用削減」の取り組みをしてくことになりました。(ご提案企画書記載の通り)

この取り組みは、出店者様の飲食物の提供においてプラスチック製の使い捨て容器の使用を禁止し、紙食器の使用を推進するものです。原則、主催者指定の紙食器のみの使用となり、指定業者より購入いただきます。

つきましては、できるだけ出店者様が提供する飲食物に合った紙食器をご用意できるよう、予め販売する製品をご案内させていただきます。添付リストの紙食器が、当日提供する飲食物の食器としてご使用いただけるかご確認をお願いいたします。リストに無い製品の問い合わせ、ご要望等がございましたら、以下の指定卸売会社までお問い合わせをお願いいたします。対応可能なものは、製品リストに反映させていただきます。

ご出店者の皆様には趣旨をご理解のうえ、「ワンウェイプラスチックの使用削減」の円滑な運営へのご協力をお願い申し上げます。

1. 飲食物の提供方法

(1) 食べ物

- ・プラスチック製の使い捨て容器の使用はできません。紙食器の使用をお願いいたします。
- ・箸やフォーク、スプーンについてもプラスチック製のものは使用できません。木製または紙製のものを使用してください。

(2) 飲み物

- ・ペットボトルは、そのままの状態でご提供することが可能です。
- ・缶、ビンの容器のものは、必ず紙容器に移しかえて提供をお願いいたします。(缶、ビンのまま提供することはできません。)
- ・飲み物の提供に必要なマドラーやストローについても、プラスチック製のものは使用できません。木製または紙製のものを使用してください。

2. 出店者様へのお願い

(1) 当日ご使用になる紙食器は、原則、以下の指定卸売会社よりご購入をお願いいたします。

(購入方法は、7月20日に開催する出店者説明会でご説明させていただきます。)

ただし、出店者様のロゴ入り紙容器など、日頃からご使用になっている紙容器をお持ちの場合は、事前申請したものに限り持ち込み可とさせていただきます。

指定卸売会社

※紙食器の要望等はこちらにお問い合わせください。
※お問い合わせ期限 7月7日 木まで
株式会社□□□□□□ 栃木県□□市□□□□□□0番地
営業日：月曜日～金曜日
営業時間：午前8時30分～午後5時30分
Tel 0000-00-0000 Fax 0000-00-0000 担当：□□、□□

(2) アンケートへのご協力のお願いいたします。

イベント終了後に今回の取組みについて、アンケートを実施いたします。

アンケートの結果は、今後のライブ開催及び栃木県の「ワンウェイプラスチックの使用削減」の取組の参考にさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

*本施策に関する お問い合わせ

RADIO BERRY (株式会社エフエム栃木 □□部 □□・□□)

フード出店者からの要望・問い合わせ内容

フード出店者からは、「事前に商品を少量サンプルとして購入したい」「商品の納品時のケースのサイズを知りたい」「イベント当日販売の在庫数」などの問い合わせはあったが、商品追加などの要望はなかったため、この時点でラインナップを確定させた。(※最終的なラインナップはP7・P8に掲載)



3

使い捨てプラスチック代替容器の導入

ベリテンライブ2022 Special 出店者説明会

出店者説明会において、参加出店者25店舗に本事業の取組への協力依頼を改めて周知し、指定の紙食器等を案内し、詳細を説明した。

開催日 2022年7月20日(水)

開催会場 井頭温泉チャットパレス 大会議室(真岡市)

ベリテンライブ2022Special出店者説明会の様子



紙食器等の調達方法

紙食器等は発注、持ち込みの両方を可能とした。事前にヒヤリングし要望の多い紙食器を抽出し、それをもとに作成した「紙食器等オーダーシート」を説明会で配布し、発注を希望するフード出店者に提出を求めた。一方、持ち込みを希望するフード出店者には「持ち込み申請書」の提出を求めた。



紙食器等オーダーシート

7_a ベリテンライブ 2022Special 紙食器オーダーシート

| | | | |
|--------------|------|---|------|
| 出店者名 | | | |
| 連絡先 (所在地) | 〒 | - | |
| | TEL | | FAX |
| | 担当者名 | | 携帯番号 |

※価格は税込みです。

| 区分 | 商品名 | 商品番号 | 1束 | サイズ | 価格 | 数量 | 金額 |
|-----|-----------------------|-----------|-----|-----------------------|----|----|----|
| 1-① | モールドバック MP-2 小 無地 | 3289684 | 50 | 171×118×37mm | | | |
| 1-② | モールドバック MP-1 大 無地 | 3289852 | 50 | 184×129×44mm | | | |
| 1-③ | モールドバック MP-4 | 3289882 | 50 | 203×171×29mm | | | |
| 1-④ | モールドバック MP-18 深 無地 | 3289918 | 50 | 165×155×38mm | | | |
| 1-⑤ | モールドどんぶり MD-5 透明ラミ | 3289887 | 50 | 160Φ×6.8mm 約730ml | | | |
| 1-⑥ | モールドどんぶり MD-2 角無地 | 3289541 | 25 | 148×148×60mm 約740ml | | | |
| 1-⑦ | モールドカレー容器 MZ-1 | 3289710 | 50 | 230×148×52mm | | | |
| 1-⑧ | 未晒フードカップ(浅型) 750ml | 004500010 | 25 | 口径150×底径128×高60 PEコート | | | |
| | 未晒フードカップ(浅型) 1100ml | 004500012 | 25 | 口径165×底径144×高60 PEコート | | | |
| 1-⑨ | ネオクラフト キャリーフードBOX S | 004248037 | 20 | 天面125×125 底面105×105 | | | |
| | ネオクラフト キャリーフードBOX M | 004224038 | 20 | 天面140×140 底面105×105 | | | |
| 1-⑩ | Nペーパープレート 8A | 004284914 | 50 | 20Φ | | | |
| 2-① | FM紙カップ7オンス6色アソート(箱入) | 6403457 | 50 | 約210cc | | | |
| | FM紙カップ 未晒無地(箱入) 9オンス | 6403462 | 50 | 約270cc | | | |
| 2-② | FM紙カップ 未晒無地(箱入) 12オンス | 6403463 | 50 | 約360cc | | | |
| | FM紙カップ 未晒無地(箱入) 16オンス | 6403464 | 50 | 約480cc | | | |
| 2-③ | バーガー袋 未晒 | 932602 | 100 | 180×180mm 片艶未晒クラフトPE | | | |
| 2-④ | ホットドッグスリーブ L 未晒無地 | 004738225 | 100 | 幅250×縦100mm | | | |
| 2-⑤ | 耐油角底袋 S1F 未晒無地 | 004090101 | 50 | 幅120×マチ65×高175 | | | |
| 3-① | 割箸 アスベン元禄 4.5k | 863690 | 100 | 約21cm バラ | | | |
| 3-② | 割箸 白楊元禄中袋 袋入 ピンク柄 | 165440 | 100 | 約21cm 紙袋入り | | | |
| 3-③ | 木製スプーン 160 単袋 | TKC69Z6R | 100 | 約16cm 紙袋入り | | | |
| 3-④ | 木製フォーク 160 単袋 | TKC69Z6T | 100 | 約16cm 紙袋入り | | | |
| 3-⑤ | 木製ナイフ 160 単袋 | TKC69Z6U | 100 | 約16cm 紙袋入り | | | |
| 3-⑥ | 曲がるペーパーストロー 単袋 未晒 | 004712962 | 200 | 6Φ×24cm 紙袋入り | | | |
| 3-⑦ | 木製マドラー 無地 WM-1 | 377304 | 100 | 約140mm | | | |

合 計

* 上記商品のお取引は下記卸売会社とお願いいたします。

* ご注文の場合は、8月1日(月)までに当店管理事務局(□□□□□)宛に本用紙をご提出ください。

* 製品の写真を別途添付します。区分ごとに分けましたのでご確認ください。

* ご注文は1束からお願いします。多量に必要な場合はケース販売もいたします。

※コロナの影響で在庫が逼迫する状態がございます。ご承知おきください。

この用紙を当店管理事務局でお預かりした後、卸売会社よりご担当者様にご連絡をさせていただきます。

株式会社□□□□□□

住所：栃木県□□□□□□□□□□

営業日：月曜日～金曜日

営業時間：午前8時30～午後5時30分

tel:0000-00-0000 tel:0000-00-0000

当：□□、□□

* 商品は事前に納品させていただきます。* お支払いは、代金引換でお願いします。

■当日販売に関して

当日の会場内でも出店者様に向けて上記商品の販売を行います。

予め発注いただいた商品が売り切れた際は、こちらでお求めください。

但し、当日発注分に関しては各ブースまでの配達には出来かねますのでご了承ください。

こちらのお支払いにつきましても代金引換でお願いします。

■返品に関して

このオーダーシートをもって発注された商品は返却不可となります。

■提出期限 8月1日(月) ■提出先 当店管理事務局 □□・□□ FAX.000-000-0000



3

使い捨てプラスチック代替容器の導入

紙食器等の詳細

7.c



7.c



7.c



7.c





3

使い捨てプラスチック代替容器の導入

紙食器使用の様子





課題・改善点など

フード出店者に対して紙食器等の利用をお願いするにあたり、「紙食器等オーダーシート」と、「持ち込み紙食器申請書」の2種類を用意して受付をしていたが、「紙食器等オーダーシート」は13件、「持ち込み紙食器申請書」は20件と、持ち込み件数が発注件数を上回る結果となった。この理由としては、紙食器等の販売価格が、発注と持ち込みであまり変わらないことや、コロナ禍によりフード出店者も通常営業において、紙食器等を使ったテイクアウトでの販売をしており、既に紙食器等を持っていたことが考えられる。今回のように持ち込み可能とすることで、他のイベントにおいても使い捨てプラスチック容器を使用しない飲食物の販売の可能性が向上すると考えられる。

一方、フード出店者より「ドリンクの販売については、中身が見えた方が見栄えがよく販売に繋がるため、プラスチック容器にして欲しい」との要望があった。今後、透明であることなどのプラスチック容器の特性が必要な場合は、単にプラスチックを使用するのではなく、バイオマスプラスチックや生分解性プラスチックの使用も考慮する必要がある。

■ベリテンライブ2022Sp 出店者一覧

| 出店番号 | 出店者 | 紙食器 オーダーシート | 紙食器 持ち込み |
|------|---------------------|----------------|-------------|
| 1 | 魚屋 食処 源天 | ○ | ○ |
| 2 | ミートダイニング ZIG | — | ○ |
| 3 | 食堂なかよし | — | ○ |
| 4 | SMILE KITCHEN | — | ○ |
| 5 | Rainbow Food Lab | ○ | — |
| 6 | FROZEN FRUIT けずりん | — | ○ |
| 7 | Sunny Smile 食堂 | — | ○ |
| 8 | 福ちゃん商店 | ○ | — |
| 9 | ベトナムダイニング GIA DINH | ○ | ○ |
| 10 | ドイツ酒場 ミュンヘン | ○ | ○ |
| 11 | NANKA2BAN | ○ | ○ |
| 12 | THE STANDARD BAKERS | ○ | ○ |
| 13 | 井頭公園 一人プール | ○ | ○ |
| 14 | 手打ちつけ汁うどん 藤工門 | ○ | — |
| 15 | 居心家 TOMOE | — | ○ |
| 16 | 馬鹿'sハウス | — | ○ |
| 17 | HARRY CURRY | — | ○ |
| 18 | 鉄板SHINO | ○ | — |
| 19 | かねふじ | — | ○ |
| 20 | 日光醤油唐揚げしょう和 | — | ○ |
| 21 | せい兵衛 | — | ○ |
| 22 | 田舎うどんカ (リキ) | — | ○ |
| 23 | 邦口食堂クロペー | ○ | ○ |
| 24 | RoySe Café | ○ | — |
| 25 | ARIGATO | ○ | ○ |
| 合 計 | | 13 | 20 |



会場で発生するごみをエコステーションで分別回収し、リサイクルの推進を図った。

市町やごみ処理業者との調整

ごみの資源化に向けて、開催地の自治体に分別の区分及びリサイクル可能なごみの種類を確認するとともに、収集・処理業者にイベント会場でのごみ収集の可否及びリサイクルへの対応などの情報を収集し、分別方法から資源化までの流れを設定した。

なお、分別区分の設定においては、当初は紙コップや割り箸、串、木製スプーン等を再生紙原料や固形燃料にマテリアルリサイクルすることを計画したが、コロナ禍における衛生上の理由により断念しサーマルリサイクルとした。

分別区分の設定

当初の設定

| | 資源 | リサイクル製品 |
|---|-------------------|----------|
| ① | 燃やせるごみ | 燃 焼 |
| ② | プラスチック | 固形燃料 |
| ③ | ペットボトル | プラスチック製品 |
| ④ | ペットボトルキャップ | プラスチック製品 |
| ⑤ | 紙コップ | 再生紙原料 |
| ⑥ | 割り箸、串、 木製スプーン等 | 固形燃料 |

リサイクル業者と打ち合わせ後の変更

| リサイクル製品 | 備 考 |
|------------------------|--|
| サーマルリサイクル | 生ごみの肥料へのリサイクルも検討したがコロナ禍における衛生上の理由により、断念した。 |
| 固形燃料 | |
| プラスチック製品 (再生ペットボトル) | |
| ワクチンキャップ運動に寄付 | |
| サーマルリサイクル | 再生紙へのリサイクルを検討したが、コロナ禍のため、衛生上の理由及び、コップのコーティングが再生に向かないとの理由で断念した。 |
| サーマルリサイクル | コロナ禍のため、衛生上の理由により断念した。 |

決定したごみの分別とリサイクルまでの流れ

| | 資源 | 回収業者 | 一次処理業者 | 二次処理業者 | リサイクル製品 (具体的な製品名) |
|---|----------------|------|------------------|--------------|-------------------------|
| ① | 燃やせるごみ | 日 環 | 芳賀地区 エコステーション | | サーマルリサイクル (熱エネルギー発電) |
| | 生ごみなど | 日 環 | 芳賀地区 エコステーション | | サーマルリサイクル (熱エネルギー発電) |
| ② | ペットボトル | 協栄産業 | 協栄産業 | 協栄産業 | プラスチック製品 (再生ペットボトル) |
| ③ | きれいな プラスチック | 協栄産業 | 協栄産業 | 固形燃料 製造業者 | 固形燃料 (RPF) |
| ④ | ペットボトル キャップ | 協栄産業 | 協栄産業 | | ワクチンキャップ 運動 |

新型コロナウイルス感染症対策について

集めたごみの取扱については、マスク・手袋の必着、業務中のスタッフの私語禁止など、十分注意して対応した。



4

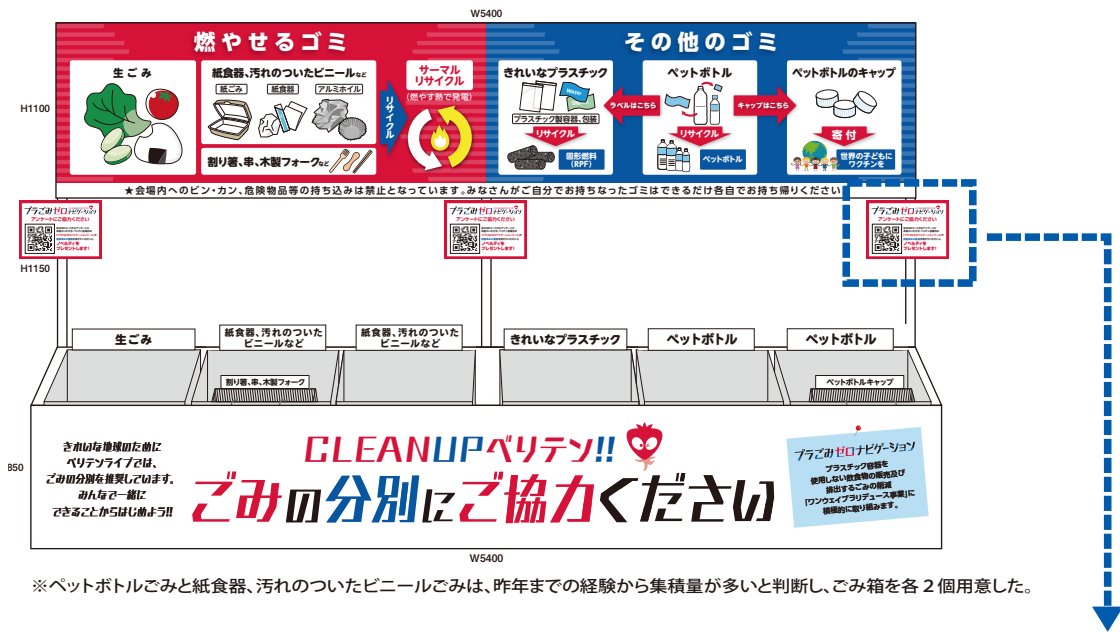
ごみのリサイクル

エコステーションの設置

イベント当日に参加者がごみをわかりやすく分別して出せるエコステーションを設置した。
また、収集したごみをスタッフが極力簡単に取り出せるよう、エコステーション背面の柱を減らしたり、ごみ箱にフタをつけないなどの工夫をし、設計施工した。

エコステーションのデザイン

リサイクルの説明を入れつつ、分別する際にわかりやすいようデザインした。併せて、webアンケートQRを掲示し、ベリテンライブ参加者へアンケートへの参加を促した。



プラごみゼロナビゲーション CLEANUPベリテン!!

アンケートにご協力ください

左のQRコードからアンケートにお答えいただき、ベリテン会場内の「プラごみゼロナビゲーションブース」で回答済みの画面を見せていただくと、**ノベルティをプレゼントします!**



エコステーション設置場所

事前に井頭公園を訪問、当日の会場図面と現場を見比べながら、当日の人の導線やごみ集積所までの導線を考慮し、なおかつ平坦な場所である事を確認し、エコステーション設置場所を決定した。



ごみ集積所の設置場所

エコステーションには多量のごみを置いておくことはできないため、各エコステーションのごみを集積するごみ集積所Sを設置した。

エコステーションからの導線や搬出の際の導線を考慮した上で、なるべく参加者の目につかない林の中に設置した。

当日の様子



※ごみ集積所に直接ごみを持ってこられる方が多数いた為、臨時に簡易ごみ箱を設置した。



エコステーションの運営

本業務を担当する業務責任者及び、クリーンスタッフ等の配置や役割分担を明確にし、体制を構築した。

会場内エコステーション別スタッフの配置と役割

会場内にある3箇所のエコステーションと1箇所のごみ集積所に、専属のスタッフを配置し役割を与え、責任を持って役割を遂行させた。エコステーションではスタッフが常に声がけし、参加者へごみの分別を促しながら運営していた為、分別が適切に行われ、リサイクルを行うことができた。

| エコステーションA班 | | エコステーションB班 | | エコステーションC班 | | ごみ集積所 | | | |
|---|----|--------------------------------------|----|---|----|--|----|----------|---|
| ●エコステーション管理及び周辺のごみ拾い ●本事業の啓発と分別案内 | | ●エコステーション管理及び周辺のごみ拾い ●本事業の啓発と分別案内 | | ●エコステーション管理及び周辺のごみ拾い ●本事業の啓発と分別案内 | | ●統括 ●ごみ集積所の管理及び周辺のごみ拾い ●リアカーでのゴミ回収 | | | |
| A班クリーンスタッフ | 6名 | B班クリーンスタッフ | 6名 | C班クリーンスタッフ | 4名 | S1統括 | 1名 | リアカースタッフ | 4名 |
| ●休憩ローテーション ・11:30~2名づつ交代で45分間の昼休憩 ・15:30~2名づつ交代で15分間の休憩 | | | | ●休憩ローテーション ・11:30~1名づつ45分間の昼休憩 ・15:30~1名づつ15分間の休憩 | | ごみ集積所スタッフ | | 4名 | ●休憩ローテーション ・11:30~1名づつ45分間の昼休憩 ・15:30~1名づつ15分間の休憩 |

※エコステーションのごみ箱1つにつき、1名を配置しスタッフ人数を算出。ごみ集積所とC班のエコステーションについては主な人の導線から少し外れているため、混み合う事がないと判断し、人数を減らして運営。※統括責任者と各班1名づつトランシーバーを携帯。

※イベントの予算内で用意できる最大人数を算出し、運営。業務が滞る事もなかった為、スタッフの過不足はなかった。

会場内エコステーションの場所・スタッフの配置バランス

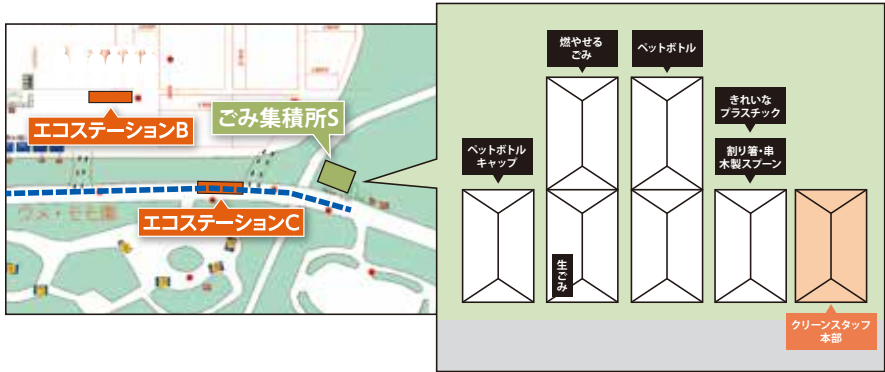


凡例

- リアカー可動域動線
- 統括(1名)
- 集積所スタッフ(4名)
- クリーンスタッフ(16名)
- リヤカースタッフ(4名)



ごみ集積所レイアウト



●テントサイズ W5,400×D3,600×H1,800mm

用意した6張りのテントは、イベント2日間で各ごみが満タンになる事はなかった。イベント終了の翌日、収集業者により搬出を1回行った。イベント2日間とも天候が良く気温も高かった為、若干の悪臭は発生したが、苦情等はなかった。

ごみ回収用リアカー ※各エコステーションで集めたごみを集積所へ運ぶために使用



クリーンスタッフユニフォーム

円滑に運営するためのスタッフを集め、配置。視認性のため、当日に向けてスタッフ用のTシャツを作成、当日全スタッフが着用した。

■10日クリーンスタッフ



■11日クリーンスタッフ





使い捨てプラスチックごみの削減効果

本イベントで収集されたごみの量は以下の表のとおりである。

同イベントにおける過去のプラスチックごみは、燃やせるごみのうち約70%であった(収集スタッフ目測)ことから、今回燃やせるごみ(2,000kg)の約70%である約1,400kgのプラスチックごみが削減されたと考えられる。

また、参加者一人あたりのごみの排出量を過去のデータと比較したところ、減少していた。(0.18kg→0.14kg)

使い捨てプラスチック容器から紙食器等に切り替えたことによるごみの排出量の増加は見られず、イベント参加者やフード出店者に対するプラスチックごみ削減のPR等により減少したと考えられる。

2022年ごみ収集量

| | | |
|-------------|------------|---------|
| ごみ収集量 | 燃やせるごみ | 2,000kg |
| | 生ごみ | 190kg |
| | キレイなプラスチック | 75kg |
| | ペットボトル | 788kg |
| | ペットボトルキャップ | 57kg |
| | 計 | 3,110kg |
| 参加人数 | | 22,000人 |
| 一人あたりのごみ排出量 | | 0.14kg |

本事業で
プラスチックごみ
約1,400kg削減※
に成功

※2,000kg(燃やせるごみ)×約70%=約1,400kg

過去のゴミの排出量

| | | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 平均 |
|-------------|--------|---------|---------|---------|---------|
| ごみ収集量 | 可燃物 | 2,130kg | 1,980kg | 2,050kg | 2,053kg |
| | 不燃物 | 20kg | 20kg | 0kg | 13kg |
| | ペットボトル | 570kg | 500kg | 620kg | 563kg |
| | 計 | 2,720kg | 2,500kg | 2,670kg | 2,629kg |
| 参加人数 | | 15,000人 | 15,000人 | 15,000人 | 15,000人 |
| 一人あたりのごみ排出量 | | 0.18kg | 0.17kg | 0.18kg | 0.18kg |

※2020, 2021年は新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止

課題・改善点など

分別区分の設定においては、**コロナ禍などの理由により、一部、提案時に予定していた製品へのリサイクルが不可能となり、別の形でのリサイクルへ変更することになった。**アフターコロナにおいては、リサイクルに回せる資源の増加及びリユース食器の導入による更なるごみの排出量削減も考えられる。



5 イベント参加者への分別の周知

イベント参加者に対してイベントでの取組内容及び、分別への協力を周知した。

HPへの掲載

ごみの分別について、イベント参加者に事前に告知するため、イベントHPに掲載した。

PRブースでの周知

本事業の取組を当日の参加者にPRするため、会場内にPRブースを設置。プラスチックごみ問題の動画を放映したり、パネル展示などで取組を周知した。

大型ビジョンでの周知

ステージ横の大型ビジョンでごみの分別について放映。来場者へ周知した。



6

アンケートの実施



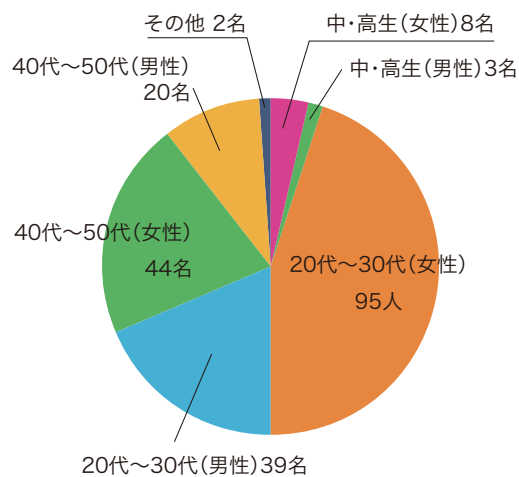
イベント参加者及びフード出店者に対して代替容器についてのアンケートを実施した。
 フード出店者用と来場者用の二種類のwebアンケートを作成した。
 イベント当日、来場者が多く、ネット回線が不安定となったため、来場者用アンケートについては紙アンケートも実施した。

来場者アンケートの結果

【結果概要】

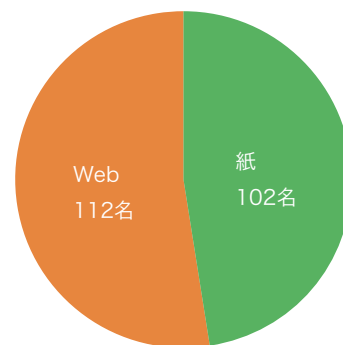
- ・紙食器の使用感は「飲食時」「持ち運び」ともにプラスチック容器と変わらない。
- ・海洋プラスチックごみ問題の認知度は高い。
- ・今回の取り組みを通じてプラスチックごみ削減に取り組みたい人が増加。

■ブース来場ノベルティ配布の年代別割合
 (ノベルティを配布した人数208名)

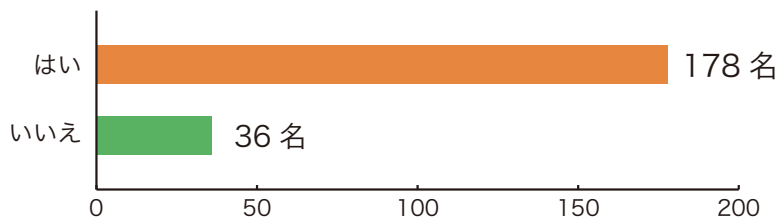


■アンケート回答ツール別割合
 (アンケートに答えていただいた人数214名)

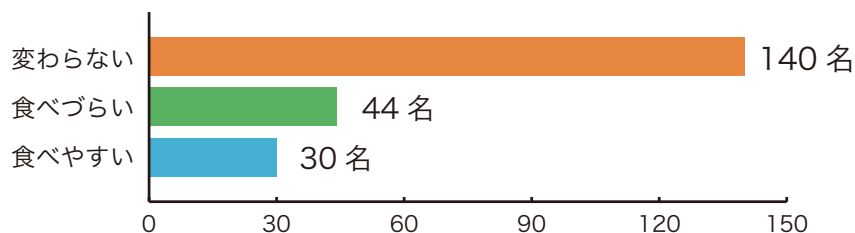
※ブースに来場せず、Webアンケートに答えた方がいたためノベルティ配布の人数とは異なる



■Q1.海洋プラスチックごみの環境問題を知っていましたか？



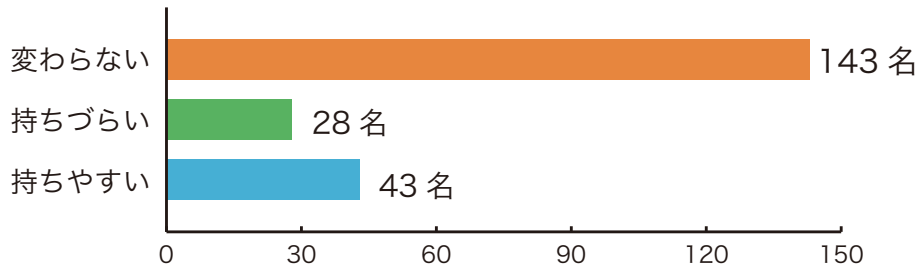
■Q2.【飲食時】紙食器を使用した飲食はプラスチック容器と比較していかがでしたか？



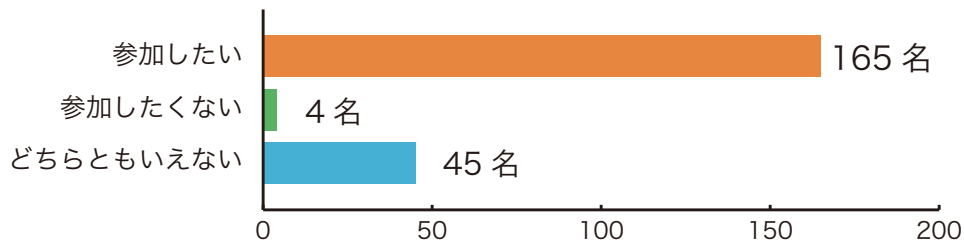


来場者アンケートの結果

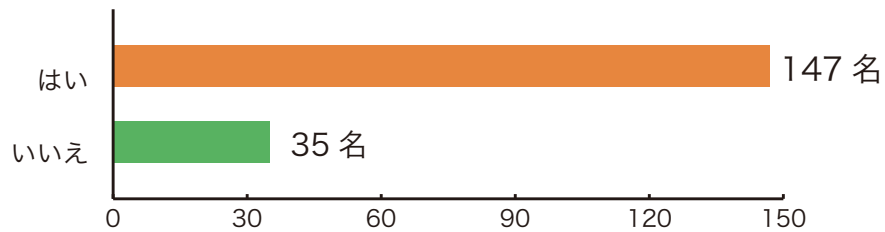
■Q3.【持ち運び】紙食器を使用した飲食はプラスチック容器と比較していかがでしたか？



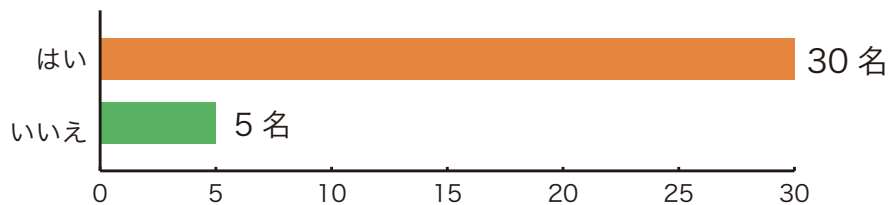
■Q4. 今後も環境に配慮した取り組みを行っているイベントに参加してみたいか？



■Q5. 個人としてプラスチックごみの削減に取り組んでいますか？



■Q6. いいえと答えた方、今回の経験を通じて取り組みたいと思いましたが？





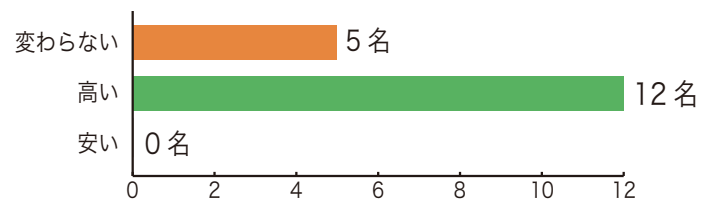
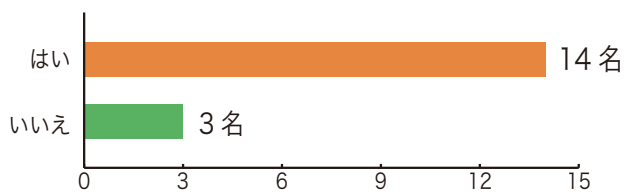
フード出店者アンケートの結果

9月末まで回答を受付。25店舗中17店舗から回答があった。

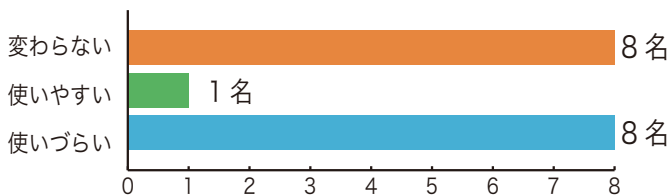
【結果概要】

- ・紙食器はプラスチック容器より割高な傾向。
- ・使い勝手は「変わらない」「使いづらい」が同数。
- ・フード出店者が普段使用している容器はプラスチックが多いが、紙食器を使用している店舗もある
- ・今後もプラスチック以外の容器を使用したいと回答した店舗がほとんど。

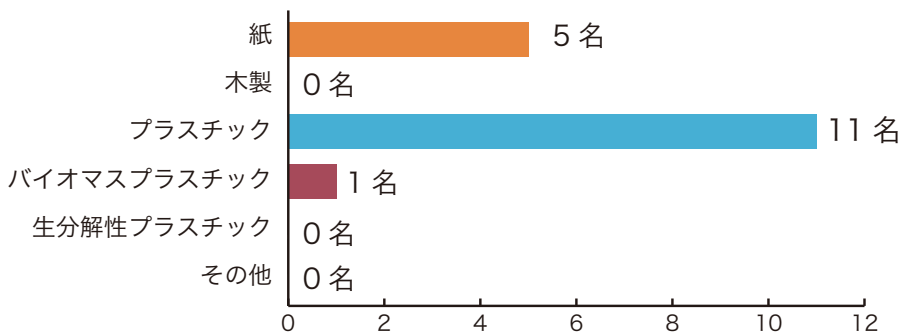
■Q1.海洋プラスチックごみの環境問題を知っていましたか？ ■Q2.プラスチック容器と比較してどうですか？(費用面)



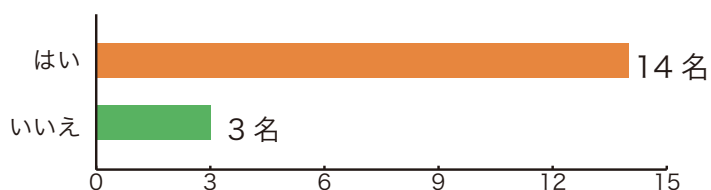
■Q3.プラスチック容器と比較してどうですか？(使い勝手)



■Q4.ご自身の店舗でテイクアウト容器は何を使用していますか？(最も多く使用しているものを選択してください)



■Q5.今後も使い捨てプラスチック以外(紙や木など)の容器を使用していきたいですか？





PRブースの設置、取組の様子をラジオ番組で放送した。

PRブース

海洋プラスチックごみ問題について来場者に普及啓発を行うとともに、来場者へアンケートを実施した。

PRブースデザイン

本事業のPRブースとして「プラスチックの使用削減」への取り組み等を動画やパネル等を活用して来場者へ周知した。



■テントサイズ W5,400×D3,600×H1,800mm

- 海洋プラスチックごみ問題に関する動画の放映 (<https://www.youtube.com/watch?v=UQXcqIGyVTQ>)
- 会場内エコステーションでの分別方法の案内を放映
- 栃木県の取り組みについてパネル等にて紹介
- 栃木県の取り組みについてパンフレットの配布
- webアンケートの実施(QRコード掲示)
- 紙アンケートの実施(ネット回線混雑時)
- アンケート回答者へのノベルティ配布
- その他「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」等のPRも併せて行った

PRブース当日の様子





特別番組の放送

当日の本事業の取り組みの様子を、取材・収録し、来場者、フード出店者の声を特別番組として、エフエム栃木で放送。

広く栃木県民へ啓発活動を実施した。

番組概要

番組名 「ベリテンエコアクション」

放送概要 約5分程度×4回

2022年10月3日(月)～6日(木) 17:35～

放送内容 『SDGs(持続可能な開発目標)の目標(12)つくる責任とつかう責任』



ラジオ放送を通して、プラスチックごみの削減や再資源化について放送。大型音楽フェス来場者・出展者に対し、会場で5品目の分別回収に協力いただくとともに、普段の「エコ活動」や「ごみ削減活動」についてのインタビューを展開。「取り組みやすい身近な事例」や「継続のコツ」を聞き出し、ラジオリスナーにもエコ・アクションへの賛同を訴えた。

放送した来場者・フード出店者の声

10月3日(月)放送

・親子(母親)30代

木のスプーンの使い心地について。エコバックの持参を心がけている。

・兄弟(男女)20代

紙のストローについて。細かい分別について。マイボトル持参。市町村の指定分別守る。自然・動物守りたい。

10月4日(火)放送

・女性20代

一人一人のが積極的にエコ活動していかななくてはならないと思っている。

・男性(父親)40代

ペットボトルのキャップ、ラベルなどの分別は常に意識。BREXの試合がエコ活動のきっかけ。子供の将来のためにも身近なエコ活動を続けたい。今後もエコイベントがあったら参加したい。

10月5日(水)放送

・男性(出店者)30代

今回、エコ容器を提供してみて、すでにお客さんたちのあいだにも、浸透しているように感じた。普段のお店の営業でも、ごみを減らすことができるよう気にかけている。自然が好き、海が好き。環境をよりよくするために自分たちが何をやっていけるか。イベントを通して参加者と自分たちもエコへの意識を共有して、同じ目的に向かって考えられることができたと思う。

10月6日(木)放送

・女性10代

エコ素材の使用について。今までのプラ製品と比較しても、使用感に違和感はない。良い取り組みだと思う。マイボトルは常に持ち歩くようにしている。

・親子(父親)30代

提供されているものがエコ素材の容器だとは気が付かなかったくらいに、違和感がない。元々、SDGsを意識している。また最近ごみ処理施設で火災があったこともあり、ゴミの量や、分別に気を付けている。子供もSDGsについて理解をし始めていると思う。(子供のころから触れているからではないか)